



第54期 中間報告書

2018年4月1日

2018年9月30日



代表取締役会長
最高経営責任者 (CEO)

村井 温



株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの第54期第2四半期(2018年4月1日～2018年9月30日)の概況についてご報告申し上げます。

事業環境について

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用、所得環境の改善が続くなか、個人消費が持ち直し、設備投資も増加するなど、労働人口の減少を背景とする人手不足のなかにあって、全体として緩やかに回復しました。一方で、米中貿易摩擦や、中国経済の減速懸念、英独伊等のEU域内を巡る動き、中東情勢と原油価格の動向、地政学的リスク、不安定な金融資本市場等を背景に、一段と景気の先行き不透明感が強まっています。

また、2018年7月豪雨、大型台風、北海道胆振東部地震等、相次ぐ自然災害が経済活動に与える影響や消費税増税を巡る動きにも十分留意する必要があります。

国内治安情勢につきましては、刑法犯認知件数は2017

代表取締役社長
最高執行責任者 (COO)

青山 幸恭



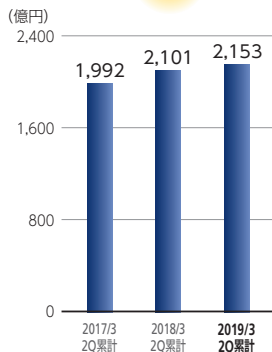
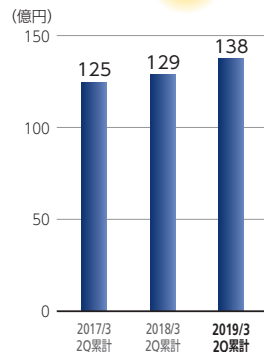
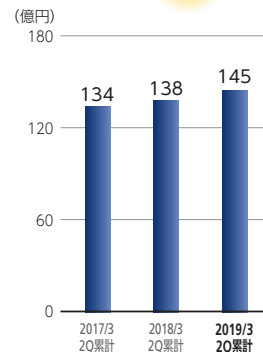
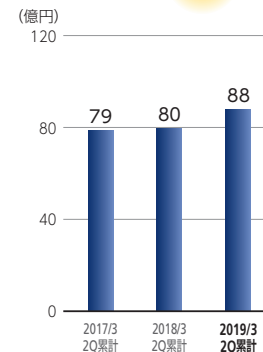
年に戦後最少の約91万件となり、2018年上半期は約40万件とさらにそれを下回るペースで推移しているものの、高齢者・障がい者等を狙った凶悪な犯罪や特殊詐欺、ストーカー犯罪、子どもや女性を狙った犯罪、さらには交番を狙った犯罪などの身近な犯罪が後を絶たない状況です。

また、自然災害、国際テロ、仮想通貨流出等のサイバー犯罪や情報漏えい等、社会を取り巻くリスクは多様化しております。

決算概要について

このような情勢のなか、当社グループは、中期経営計画「Grand Design 2020」に掲げたとおり、お客様と社会の安全・安心を支える「総合安全安心サービス業」を目指して、多様化・高度化する一人一人のお客様と社会の安全・安心ニーズに応えるべく、セキュリティ事業とその関連事業の進化・深化に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は2,153億84百万円(前年同期比2.5%増)、営業利益は138億79百万円(前年同期

売上高 **2,153**億円営業利益 **138**億円経常利益 **145**億円親会社株主に帰属する
四半期純利益 **88**億円

比7.3%増)、経常利益は145億21百万円(前年同期比5.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は88億15百万円(前年同期比9.4%増)となり、中間期ベースでは、売上高、利益ともに過去最高を更新しました。

主な取り組みについて

主力のセキュリティ事業につきましては、侵入、火災、設備等の監視、管理を備えたスタンダードなセキュリティシステム「ALSOK-ST(スタンダード)」、スタンダードな機能に加え、画像監視、出退勤情報等の閲覧、設備の遠隔操作をWeb上で行える機能等を備えた「ALSOK-GV(ジーファイブ)」等の販売を推進しました。

また、立体的に監視エリアを設定でき、隙間のない監視が可能な「3Dレーザーレーダー」や複数のQRコード決済が可能な「ALSOKマルチQR決済ソリューション」等、お客様の様々なニーズに対応する新サービスを順次発売しました。

その他、少子高齢化が進む社会に貢献するサービスとして高齢者を見守る「HOME ALSOKみまもりサポート®」

や、地域見守りネットワークの構築を支援する「みまもりタグサービス」の拡販に努めました。

総合管理・防災事業につきましては、グループ内での連携強化による各種施設の維持・管理・運営に関する総合的なマネジメントに注力し、介護事業につきましては、施設事業における入居率改善に取り組むほか、訪問医療マッサージを行う株式会社ケアプラスを連結子会社化し、事業体質の強化を図りました。

今期の見通し

当社グループの第54期の連結業績予想は、売上高4,500億円(前期比3.2%増)、営業利益331億円(前期比9.9%増)、経常利益350億円(前期比9.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益220億円(前期比13.7%増)を見込んでいます。

株主の皆様におかれましては、何卒今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

業務別の状況

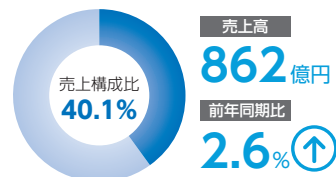
セキュリティ事業

機械警備業務



法人向けでは、侵入、火災、設備等の監視、管理サービスを備えたセキュリティシステム「ALSOK-ST (スタンダード)」や画像監視に加え、出退勤情報等の閲覧や設備の遠隔操作を Web 上で行える「ALSOK-GV (ジーファイブ)」のほか、防犯カメラシステムや出入管理システム等の販売が堅調に推移しました。

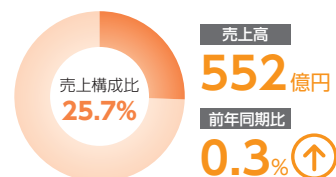
個人向けでは、住宅向けスタンダードモデルである「ホームセキュリティ Basic」に加え、「HOME ALSOK Premium」の販売が堅調に推移しました。



常駐警備業務



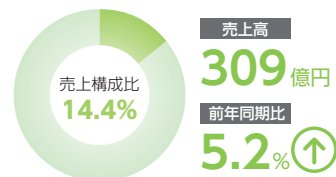
人手不足のなかで警備業務アウトソーシングの動きや再開発に伴う新築ビルの警備ニーズ等が強まり、オフィスビル等の警備や各種イベントにおける臨時警備の受注が売上に貢献しました。



警備輸送業務

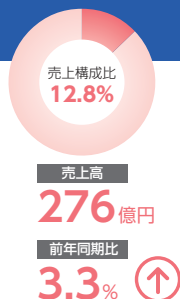


金融機関における ATM 関係を含む総合管理等のアウトソースの受注が堅調に推移したほか、働き方改革の進展や人手不足を背景として小売・飲食店等からの入(出)金機オンラインシステムの受注が好調に推移しました。



総合管理・防災事業

グループ内での連携強化による各種施設の維持・管理・運営に関する総合的なマネジメントに注力し、建物の総合管理や清掃業務、改修工事の受注が売上に貢献しました。



介護事業

施設事業における入居率改善や、ケアプラスの連結子会社化が売上に貢献しました。



四半期連結財務諸表(要旨)

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期末 (2018/9/30)	前期末 (2018/3/31)
(資産の部)		
流動資産	190,421	194,533
現金及び預金	47,473	47,573
警備輸送業務用現金	66,273	68,715
受取手形及び売掛金	47,311	52,286
その他	29,581	26,184
貸倒引当金	△ 218	△ 226
固定資産	203,375	202,102
有形固定資産	90,221	91,246
無形固定資産	30,833	30,313
投資その他の資産	82,321	80,542
投資有価証券	42,507	42,597
その他	40,212	38,324
貸倒引当金	△ 398	△ 380
資産合計	393,797	396,635

	当第2四半期末 (2018/9/30)	前期末 (2018/3/31)
(負債の部)		
流動負債	83,796	92,495
支払手形及び買掛金	16,556	23,420
短期借入金	19,633	17,612
未払法人税等	4,356	5,769
引当金	2,527	2,307
その他	40,722	43,384
固定負債	61,896	62,758
負債合計	145,693	155,253
(純資産の部)		
株主資本	228,788	223,010
資本金	18,675	18,675
資本剰余金	34,243	34,243
利益剰余金	176,939	171,161
自己株式	△ 1,069	△ 1,069
その他の包括利益累計額	△ 4,006	△ 4,773
非支配株主持分	23,321	23,144
純資産合計	248,103	241,382
負債純資産合計	393,797	396,635

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期累計 (2018/4/1～ 2018/9/30)	前第2四半期累計 (2017/4/1～ 2017/9/30)
売上高	215,384	210,121
売上原価	162,949	159,333
売上総利益	52,434	50,788
販売費及び一般管理費	38,554	37,858
営業利益	13,879	12,929
営業外収益	1,825	1,750
営業外費用	1,183	866
経常利益	14,521	13,813
特別利益	3	0
特別損失	121	0
税金等調整前四半期純利益	14,403	13,813
法人税等	4,979	4,977
四半期純利益	9,424	8,836
非支配株主に帰属する 四半期純利益	608	780
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,815	8,056

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期累計 (2018/4/1～ 2018/9/30)	前第2四半期累計 (2017/4/1～ 2017/9/30)
四半期純利益	9,424	8,836
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	440
為替換算調整勘定	△64	△57
退職給付に係る調整額	822	1,289
持分法適用会社に対する持分相当額	49	84
その他の包括利益合計	789	1,756
四半期包括利益	10,213	10,592
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,583	9,682
非支配株主に係る四半期包括利益	630	910

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期累計 (2018/4/1～ 2018/9/30)	前第2四半期累計 (2017/4/1～ 2017/9/30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,265	9,049
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,896	△11,717
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,303	△1,589
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	58	△4,264
現金及び現金同等物の期首残高	40,484	47,549
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	29	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	40,572	43,285

詳細な財務情報のご案内



当社の財務状況に関する詳細な情報につきましては、当社Webサイト「株主・投資家情報」→「IRライブラリ」をご参照ください。決算短信、有価証券報告書、決算説明会資料・動画、統合(アニュアル)レポートなど、各種IR資料がご覧いただけます。

<https://www.alsok.co.jp/ir/library/>

高精度な検出性能で高度な警備強化ニーズに対応 3Dレーザーレーダーの販売開始について

ALSOKは、安全性を求める施設やエリアの警備強化ニーズに対応するため、高精度な検知性能を有する「3Dレーザーレーダー」を2018年7月より販売開始しました。

安全・安心への意識が社会全体で高まるなか、高度な安全性が求められる施設での警備強化や、多くの人が集まる場所での安全対策、繁華街を中心とした街頭犯罪への対策など、セキュリティレベルの向上が社会的な課題となっています。

そうしたなか、人的資源の不足やコスト削減・効率化のため、監視カメラなど機械警備へのニーズが高まる一方で、死角の発生や夜間・雨中での検知能力の低下、さらにはセンサーの誤検知など、検知精度の向上が求められています。

そこでこの度、ALSOKは従来のセンサーよりも高精度な検知性能を有し、耐環境性能にも優れた「3Dレーザーレーダー」を販売開始しました。



3Dレーザーレーダー

製品特長

(1) 高精度な検出性能

コニカミノルタ社独自のレーザー投受光技術と走査技術により、検出可能領域は水平画角120度の広画角を実現、垂直方向は24レイヤーの高い分解能を有し、毎秒10フレームでリアルタイムに物体の3D情報を取得します。

(2) 誤報要因を排除し、人物だけの検出が可能

隙間のないレーザースポット照射と独自の認識アルゴリズムにより、人物に相当する大きさの対象物のみを判別し抽出することが可能となっています。

(3) 高い耐環境性能

太陽やヘッドライトなどの外乱光の影響を極力排除しており、屋外警備のシーンにおいても高い品質を達成しています。

交通誘導業務の品質および生産性向上を実現した ALSOK 交通誘導システムの試行運用を開始

ALSOKは、通行車両の移動方向を検知するセンサーと工事用信号機を組み合わせ、交通誘導業務の品質向上および生産性向上に寄与する「ALSOK 交通誘導システム」を開発しました。

本システムは、実際の交通誘導員が行う判断手法を搭載しており、システムが工事区間内を安全と判断しなければ進行指示(青信号)を表示せず、また、誘導無視(信号無視)が発生した場合は、即座に警報を出力し、後続車の侵入を抑止する機能を搭載しています。

本システムにより、交通誘導の品質確保と交通誘導員の安全確保が図れ、さらには交通誘導員の省力化が期待できます。



埼玉県内で試行運用を実施

ALSOK マルチ QR 決済ソリューションの提供開始について

ALSOKは、コミュニケーションアプリ「LINE」が提供するモバイル送金・決済サービス「LINE Pay」*1、中国で普及するQRコード決済サービス「Alipay」*2、「WeChat Pay」*3等での決済が可能な「ALSOKマルチQR決済ソリューション」を2018年8月より提供開始しました。

本サービスでは、一つのアプリで複数のQRコード決済を可能にしたマルチ決済ゲートウェイアプリ「StarPay」を搭載した端末の販売と同決済サービスを提供します。これにより、店舗利用客がQRコード決済での支払いが可能になると同時に、キャッシュレスによる決済業務の簡略化によって店舗運営の効率化に貢献します。

〈QRコード決済端末〉

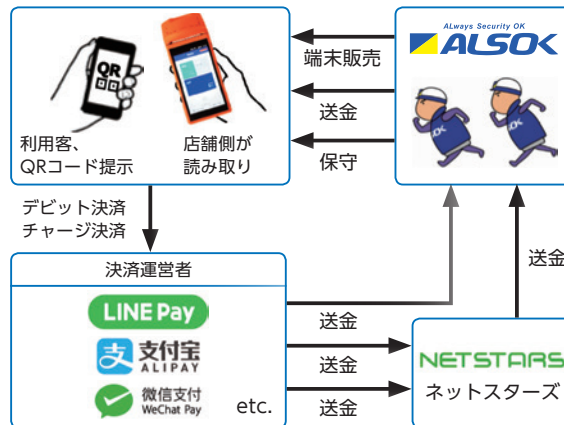


使用イメージ(小型・軽量)



端末でお客様控・加盟店控を印字可能

〈サービスイメージ〉



*1 「LINE Pay (ラインペイ)」: LINE Pay 株式会社 が運営する、日本最大級のコミュニケーションアプリ「LINE」を通じて提供されるモバイル送金・決済サービス。

*2 「Alipay (アリペイ)」: 世界最大規模のIT企業「アリババグループ」が運営するQRコード決済サービス。

*3 「WeChat Pay (ウィーチャットペイ)」: テンセントグループが運営する中国最大のSNSサービス「WeChat (ウィーチャット)」を通じて提供されるQRコード決済サービス。

ケアプラスの株式取得(子会社化)に関するお知らせ

ALSOKは、2018年6月18日付にて、ケアプラスの全株式を取得する契約を締結しました。ケアプラスは、在宅療養者向けに、訪問医療マッサージを提供しており、「まごころベルサービス」ブランドで事業を展開しています。ケアプラスには、専門的な技能を有するあん摩マッサージ指圧師の施術によって、多くのお客様のADL(日常生活動作)機能の維持・

改善に役立ってきた豊富な実績があります。

今回の株式取得は、このような実績を有するケアプラスを当社グループに迎えることにより、当社グループの介護事業のみならず個人・法人の幅広いお客様の満足度の向上を図り、当社グループの発展と企業価値の向上を目指すものです。

社会的責任投資指標「FTSE4Good Index Series」と2つのESG投資指数に選定

ALSOKは、社会的責任投資(SRI)*1の代表的な指標である「FTSE4Good Index Series」に11年連続で選定されました。加えて、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が新たに開始したESG投資のベンチマークに採用されたESG投資指数の3つの構成銘柄のうち2つに選定されました。

FTSE4Good Index Series

ロンドン証券取引所の100%出資子会社であるFTSE Russell社*2が、ESGの観点から社会的責任を果たしていると認められた企業を選定する指標であり、当社は11年連続でこの指標に選定されました。



FTSE4Good

FTSE Blossom Japan Index

FTSE Russell社が構築した、ESGの対応に優れた日本企業を選定する指数であり、当社は2年連続で選定されました。



FTSE Blossom Japan

MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数

米国MSCI社*3が構築した、ESGの対応に優れた日本企業を選別して構成される指数であり、当社は2年連続で選定されました。

MSCI



2018 Constituent
MSCI Japan ESG
Select Leaders Index

*1 社会的責任投資(SRI: Socially Responsible Investment)とは、個人や機関投資家が投資を行う際に、従来の財務分析による投資基準に加え、ESG(環境、社会、ガバナンス)における企業の取り組みを考慮して行う投資手法のこと。

*2 FTSE Russell社は、ロンドン証券取引所の100%出資子会社で、インデックスの構築と管理を世界規模で展開する企業。

*3 MSCI社は、米国・ニューヨークに拠点を置く金融サービス企業で、ニューヨーク証券取引所に上場しており、インデックスの開発・提供を世界規模で展開するプロバイダー。

女性活躍推進法に基づく認定マーク(えるぼし)の3段階目を取得

ALSOKは、2018年8月16日付で、女性活躍推進法に基づく厚生労働省認定マーク(えるぼし)の3段階目に認定されました。

「えるぼし」は、女性活躍推進に関する5つの評価項目(「採用」、「継続就業」、「労働時間等の働き方」、「管理

職比率」、「多様なキャリアコース」)で一定基準を満たす企業を厚生労働大臣が認定するもので、当社は5つの評価項目全てで基準を満たしたことから、最上位である3段階目に認定されました。



ALSOKスポーツ活動

レスリング

「明治杯」平成30年度全日本選抜レスリング選手権大会

2018年6月14日から17日にかけて、駒沢体育館において「明治杯」平成30年度全日本選抜レスリング選手権大会が開催されました。

ALSOKからは7名の選手が出場し、高橋侑希選手(フリースタイル57kg級)、高谷惣亮選手(フリースタイル79kg級)、太田忍選手(グレコローマンスタイル60kg級)、屋比久翔平選手(グレコローマンスタイル77kg級)、園田新選手(グレコローマンスタイル130kg級)、坂上嘉津季選手(女子フリースタイル57kg級)が優勝しました。

また、本大会の最優秀選手に与えられる明治杯は男子フリースタイル57kg級の高橋侑希選手が受賞しました。



高橋 侑希 選手



高谷 惣亮 選手

第18回アジア競技大会

2018年8月18日から9月2日にかけてインドネシアのジャカルタ、パレンバンにおいて第18回アジア競技大会が開催されました。

ALSOKレスリング部からは5名の選手が出場し、太田忍選手(グレコローマンスタイル60kg級)が優勝、高橋侑希選手(フリースタイル57kg級)、園田新選手(グレコローマンスタイル130kg級)、坂上嘉津季選手(女子フリースタイル57kg級)が第3位の成績を収めました。



太田 忍 選手

柔道

第48回全日本実業柔道個人選手権大会

2018年8月25日から26日にかけて、尼崎市ベイコム総合体育館において、第48回全日本実業柔道個人選手権大会が開催されました。ALSOKからは8名の選手が出場し、女子78kg級梅木真美選手が準優勝、男子66kg級浅利昌哉選手、男子81kg級中矢力選手、男子100kg級熊代佑輔選手が第3位の成績を収めました。



梅木 真美 選手

ウェイトリフティング

第78回全日本ウェイトリフティング選手権大会 第32回全日本女子ウェイトリフティング選手権大会 《2018年5月25～27日》

大会
結果

笠井 武広 選手	男子	77kg級	優勝
山本 俊樹 選手	男子	85kg級	優勝
八木 かなえ 選手	女子	53kg級	優勝
松本 潮霞 選手	女子	63kg級	優勝

陸上

第66回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 《2018年9月21～23日》

大会
結果

藤澤 勇 選手 男子 10000m競歩 第6位

ライフル射撃

第18回アジア競技大会 《2018年8月18日～9月2日》

大会
結果

岡田 直哉 選手 男子 10mエアライフル 第11位

皆様の温かいご声援、誠にありがとうございました。

会社概要 (2018年9月30日現在)

社名: 総合警備保障株式会社
(SOHGO SECURITY SERVICES CO., LTD.)
本社: 〒107-8511 東京都港区元赤坂1-6-6
設立: 1965年7月16日
資本金: 18,675百万円
事業所: 本社・64支社・37支店・253営業所

取締役および監査役 (2018年12月1日現在)

代表取締役会長
最高経営責任者 (CEO) 村井 温
代表取締役社長
最高執行責任者 (COO) 青山 幸恭
代表取締役 栢木 伊久二
取締役 穂苅 裕久
取締役 大谷 啓
取締役 村井 豪
取締役 野村 茂樹
取締役 八木 雅人
取締役 (社外) 竹花 豊
取締役 (社外) 岩城 正和
取締役 (社外) 小野 誠英
取締役 (社外) 門脇 英晴
常勤監査役 龍口 真樹
常勤監査役 (社外) 大岩 武史
監査役 (社外) 上野山 実
監査役 (社外) 渡辺 郁洋

執行役員 (2018年12月1日現在)

社長執行役員	青山 幸恭	常務執行役員	鈴木 基久
専務執行役員	栢木 伊久二	執行役員	重見 一秀
専務執行役員	穂苅 裕久	執行役員	鈴木 一三
常務執行役員	大谷 啓	執行役員	小野 誠司
常務執行役員	村井 豪	執行役員	吉本 康弘
常務執行役員	野村 茂樹	執行役員	本庄 信一
常務執行役員	八木 雅人	執行役員	熊崎 善夫
常務執行役員	熊谷 敬	執行役員	高橋 賢
常務執行役員	岸本 孝治	執行役員	高野 明
常務執行役員	水谷 紀彦	執行役員	長嶋 義春

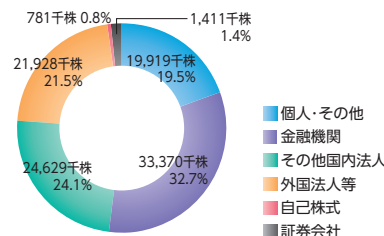
(2018年9月30日現在)

発行可能株式総数 300,000,000株
発行済株式の総数 102,040,042株
(自己株式 781,701株を含む)
株主数 14,031名
大株主(上位10名)

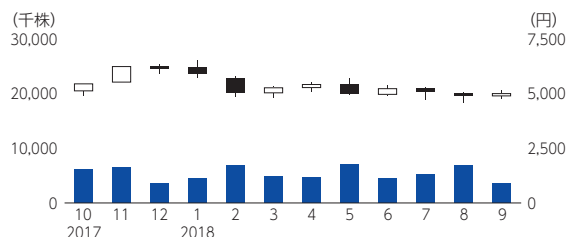
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
総合商事(株)	7,388	7.29
埼玉機器(株)	5,283	5.21
みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)	4,261	4.20
かまくら商事(株)	4,150	4.09
総合警備保障従業員持株会	4,142	4.09
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	4,139	4.08
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	3,117	3.07
きずな商事(株)	2,950	2.91
村井 温	2,885	2.84
(株)SMBC信託銀行 (株)三井住友銀行退職給付信託口)	2,735	2.70

注: 持株比率は自己株式(781,701株)を控除して計算しております。

所有者別状況(株式数)



株価チャート・出来高推移



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) TEL: 0120-782-031(フリーダイヤル)

住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

配当金計算書について

配当金お支払いの際に送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

お問い合わせ先

株式事務に関するお問い合わせ

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL: 0120-782-031(フリーダイヤル)
総合警備保障株式会社 総務部総務課
TEL: 03-5410-4428
E-mail: soumu@alsok.co.jp

事業内容に関するお問い合わせ

総合警備保障株式会社 IR室
TEL: 03-3423-2331
FAX: 03-3470-1565
E-mail: alsok-ir@alsok.co.jp



ALSOK ホームページ <https://www.alsok.co.jp/>



環境に優しい植物性大豆インキを使用しております。